

(1) 保存地区の概要

地区名	名古屋市有松
種別	染織町
面積	約7.3ha
選定年月日	平成28年7月25日

特徴 名古屋市有松伝統的建造物群保存地区は、慶長13年(1608)に東海道の鳴海宿と池鯉鮒(ちりゅう)宿の間に開かれ、東海道を往来する旅人の土産物として考案された有松絞りとともに発展したまちである。ゆるやかに曲がった東海道沿いに、広い間口を持つ絞商の主屋や土蔵、門・塀が数多く見られ、比較的ゆったりとした町並みが継承されている。



※現在の市域をもとに作成



(2) 保存地区のあゆみ

昭和30年(1955)	「有松町民家調査」刊行
昭和48年(1973)	「有松まちづくりの会」発足
昭和49年(1974)	有松・妻籠・今井町による「町並み保存連盟」が有松で発足
昭和50年(1975)	「有松町並み調査報告」刊行
昭和53年(1978)	「第1回全国町並みゼミ」の開催(有松・足助)
昭和58年(1983)	「名古屋市町並み保存要綱」の策定
昭和59年(1984)	「有松町並み保存地区」指定(3月) 町並み保存地区修理・修景事業の開始
昭和63年(1988)	有松山車会館が開館
平成20年(2008)	東海道無電柱化事業(~平成24年度)
平成24年(2012)	有松伝統的建造物群保存対策調査の実施(~平成25年度)
平成28年(2016)	『重要伝統的建造物群保存地区』選定(7月)
平成29年(2017)	伝建地区修理・修景事業の開始 「第40回全国町並みゼミ名古屋有松大会」の開催(11月17~19日)
令和元年(2019)	「江戸時代の情緒に触れる絞りの産地 ~藍染が風にゆれる町 有松~」が日本遺産に認定

(3) 保存地区の保存と整備

町並み案内看板の設置(H28年度)



修理修景事業(H29年度~)

平成29年度	2件
平成30年度	3件
令和元年度	4件



(4) 保存地区の活用とまちづくり

重伝建選定記念シンポジウム～有松の町並みを活かして～

有松の町並みが重要伝統的建造物群保存地区に選定されたことを記念して、有松の町並みの魅力と今後の展望を語るシンポジウムを開催。



旧竹田家はなれの改修工事(伝統的な建物の活用)

民間事業者が「なごや歴史的建造物保存活用工事助成(クラウドファンディング活用型)」を用いて空家となっていた古民家の改修工事を実施。有松絞りのライブラリーカフェとして活用されている。



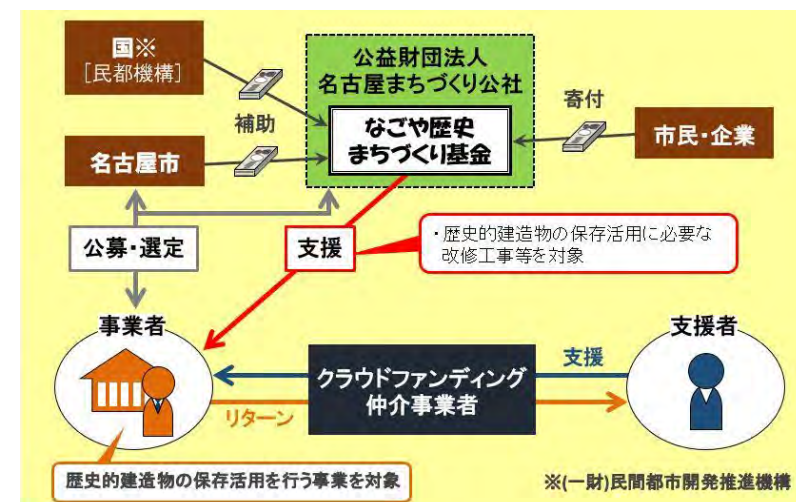
第40回全国町並みゼミ名古屋有松大会

テーマ: 町並みはわたしが守る～みんなものから40年～



《なごや歴史的建造物保存活用工事助成》

クラウドファンディングにより資金調達して歴史的建造物の保存活用を行う事業に対して助成を実施。



(5) 住民等の取組

まちづくり団体の活動

- ①月1回の会合(40年以上継続)
- ②町並みガイドの実施
- ③広報活動…HPによる紹介、会報の発行 等



町並みガイド



会報



HP

「有松町並み相談会」の開催

有松の歴史的町並み及び良好な住環境の維持・向上を図るため、地元住民・商工業者が主体となり、建築行為等を行う際の事前相談会(意見交換)を平成28年度より開催。



相談会の様子



行事の開催

①有松絞りまつり



…絞りの実演・体験・展示 等

②有松山車まつり(有松天満社秋季大祭)



…山車の曳行、からくりの実演 等

③晩秋の有松を楽しむ会



…生け花作品の展示、絞りの展示 等